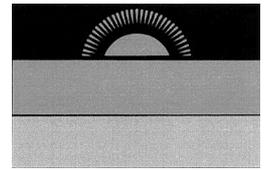


Kwacha(クワチャ)はチェワ語で「夜明け」を意味します。

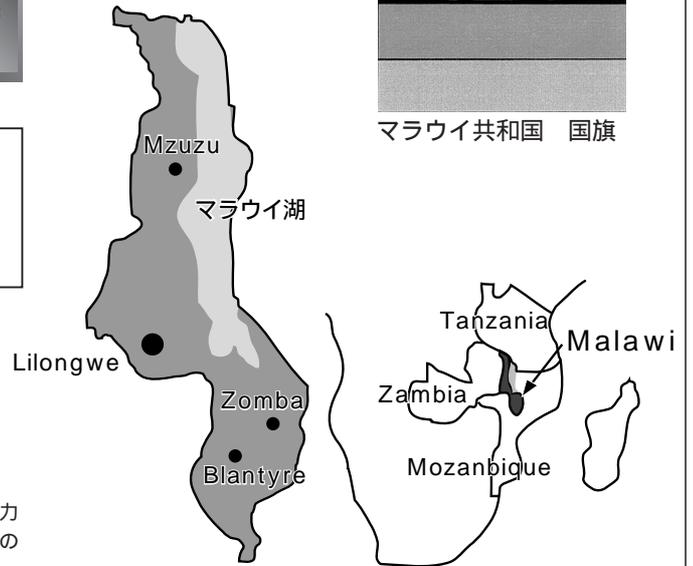
編集・発行：日本マラウイ協会
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24 青年海外協力協会気付
Tel. 03-3568-0908 Fax. 03-3568-3585
Home Page <http://www.joca.or.jp/malaw/malawi-j.htm>
E-mail japan-malawi@mc.newweb.ne.jp

面積：118,484 平方 km (日本の約 1/3)
人口：1044 万人 (1997 年央推計) 首都：リロングウェ
独立：1964 年 7 月 6 日、公用語：英語、チェワ語
政体：共和制、大統領：バキリ・ムルジ
為替レート：US\$1 = MK 47.350 (3 月 1 日現在)
MK 1 = 2.3781 円 (3 月 1 日現在)

【日本マラウイ協会 (Malawi Society of Japan)】
日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体です。趣旨をご理解の上、広く各位の入会を希望します。
会員数：276 人 (3 月 1 日現在)



マラウイ共和国 国旗



'99 国際協力フェスティバル

9 9 年 10 月 2 ~ 3 日にかけて東京・日比谷公園で「'99 国際協力フェスティバル」が開かれた。これは外務省の協力で国際協力フェスティバル実行委員会が主催、国際協力事業団、海外経済協力基金などが共催で毎年開催されているもので、今回で 9 回目。日本マラウイ協会は、94 年の初参加から 6 回連続の参加



テントの様子

当日は割り当てられたテントに、マラウイ国内の写真パネルを展示し、マラウイを紹介した資料を配布すると共に、当協会編集の国情紹介誌「マラウイ The Warm Heart of Africa 第 2 版」や旅行ガイドブック「暖かきアフリカの心 - 湖とサバンナの大地へ」をはじめ、青年海外協力隊 (JOCV) マラウイ派遣 OB/OG が持ち帰った民芸品などの販売を



マンダジを揚げているところ

行なった。

また、マラウイ風・揚げパンのマンダジ (マンダースとも呼ばれる) を実際にテント内で作り、マラウイ産紅茶・チョンベティーとセットで販売した。この企画は昨年続き 2 回目で、2 日間で 349 セット



協力してくれた JOCV マラウイ派遣 OG 達

の売上げがあり、出展テントを視察された駐日マラウイ大使館のナンピンドー一等書記官や大使夫人からも高い評価を得た。

今回の出展にあたり、当日の作業・運営に携わった人数は 2 日が 10 人、3 日が 12 人と例年以上で、とりわけ当協会会員以外の JOCV マラウイ派遣 OG 4 名の強力な支援が得られた。さらに、大使館職員がテント内でマラウイの紹介案内を務めるなど、駐日大使館の全面的な協力を得て、大きな PR 効果を得ることができた。



マラウイ大使夫人 (後列左から 2 人目) 一等書記官 (後列右端) らとともに

《マラウイ短信》

この欄のニュースはデンマークの「Malawi News Online」から抜粋し要約したものです。各項目の冒頭の日付は同ニュースの配信日を示しています。

日本マラウイ協会は同紙と配信契約を結び、記事の要約・掲載について許諾を得ています。記事の著作権は同社に帰属します。

火災、チョロ病院を焼き尽くす 【9月7日】

数 百万クワチャの設備を焼き尽くしたムランジェ病院の火災から、わずか2ヶ月後、今度は隣地区のチョロ病院（規模を縮小しヘルスセンターとして運営中）で、手術室、外来・整形外科・産科病棟などのほとんどを焼失する火災が発生した。

地区の医務官は、病院を運用再開するために、少なくとも車両、毛布、シーツ、非常ランプ、マットレス、燃料、石鹸などが直ちに必要であると述べた。

医務官はまた、現在のチョロ病院では約50万人を抱える地区の需要に対応できず、特に緊急時にはムランジェかブランタイアに移送する必要があることを示唆した。

マラウイ軍、女性兵士を募集 【9月7日】

マ ラウイ軍は9月1日、1999年年末から2000年初めにかけて女性兵士の採用を開始すると発表した。

当面は、500人の男性に対して約35人の比率で女性を採用し、女性兵士は戦闘任務には従事しない。

軍司令官は、これまで南部アフリカ地域で兵役に女性がいなかったのはマラウイだけと述べた。

最貧 8ヶ国にマラウイ 【9月27日】

世 界銀行がまとめ、9月15日に発行したWorld Development Report1999/2000によると、1人当たり平均年収が8,800クワチャ（200米ドル）のマラウイは、1999年の経済成績において最下位から8番目の国となった。

開発指標は、人的資本開発、環境維持能力、ミクロ経済能力、開発に対する外部環境に影響を及ぼす私企業分野の開発状況に関するデータなどにより算定される。

マラウイの1人当たり平均年収はエリトリアとほぼ同水準で、エチオピアの100米ドル、ブルンジの140米ドル、シエラ・レオネの160米ドル、ニジェールの190米ドルなどがマラウイより低いだけである。

列車事故、 マラウイ鉄道会社の責任 【9月27日】

9 8年5月6日にブランタイ郊外で起きた列車事故はマラウイ鉄道会社に責任があるとし、バキリ・ムルジ大統領の命により設立された事故調査委員会は同社に対し、全ての事故犠牲者に補償するよう勧告した。

この事故では18人が死亡、100人以上が負傷し、マラウイの鉄道史上、最悪の事故となった。

調査報告書は、事故を起こしたンサンジェ地方マカンガ行き下り列車のブレーキ力が、出発時に機関車で基準の30%、客車で16%しかなかったとし、同社が機関車と全車両の保全・修理において、勧告されている安全基準を遵守していない過失があったと指摘した。

マラウイ人の寿命延びる 【10月21日】

保 健サービスの改善により、マラウイ人の平均寿命は数年前の45歳から48歳まで延びた。

保健・住民サービス省のロバート・ンガイエ工副局長は、女性の平均寿命は51歳よりわずかに延び、過去20年間における保健サービスの向上がもたらしたものであると述べた。

この数値は、マラウイ人平均寿命が45歳から38歳に急激に落ちたとする国連の数値と相反するものである。

第2の携帯電話会社開業 【10月21日】

バ キリ・ムルジ大統領は10月14日、これまで1997年以来営業している「Telekom Networks Malawi」(TNM)の一社だけであったマラウイの携帯電話市場において、2番目の携帯電話会社「Celtel Ltd」の営業を認可した。

Celtelの販売マネージャーのグロリア・ンソンバ氏は、Celtelはより良い品質をより安い通信料で提供するとアピールした。同社は7時から18時までのピーク時間帯ではTNMより安い固定料金制を提供する。また同社は、利用者が通話できる分単位の代金を前払いするプリペイド式の端末も提供する。

大統領はブランタイアでの開業式典演説で新会社に対し、競争に打ち勝つため最良のサービスを提供し、効率追求に努力するよう求めた。

ムルジ大統領、結婚 【10月21日】

バ キリ・ムルジ大統領は10月9日、イスラムの婚儀儀式のもとで、12

年来の伴侶であるパトリシア・シャニル・フクラニさんと結婚した。パトリシアさんは大統領より21歳年下で、彼との間に7歳から11歳までの5人の子供がいる。大統領は2人の子供がいる第1夫人のアニーさんと99年の早期に離婚していた。

サンジカ宮殿で開かれた結婚式には、ジンバブエ、スワジランド、ザンビア、モザンビーク、ブルンジ、レソトの6ヶ国の国家元首が出席したが、野党はこの結婚式を「浪費」と批判した。

大統領は、結婚式は5000万クワチャ（約114万米ドル）がかかったという報道を否定したが、かかった費用は明らかにせず、政府は式に招待された国家元首の世話を援助しただけで、式関係の全費用は大統領個人の口座から支出したと述べた。

外交官、支出超過で非難される 【10月21日】

セ ミナーのため、任国から帰国中のマラウイの外交官たちは、ブラウン・ムビンガンジラ外務大臣から、任国における支出超過について非難を受けた。

大臣は、各大使館の支出記録によると、ほとんどの外交使節は任国でマラウイ政府が払う資力のない住宅、例えば、ある大使は月8,000米ドル、二等書記官で月4,000米ドルの家に住んでいると述べた。

大臣は、北アメリカ、ヨーロッパ、日本の全外交使節に対し、政府は高等弁務官・大使には3,500米ドルまで、それ未満のスタッフには1,500米ドルまでしか家賃を払わないと述べ、安い家賃の家に引っ越すよう警告した。

マラウイ湖で毎日 33トンの魚が死亡 【10月21日】

シ ャイブ・マピラ漁業部長官は、マラウイ湖で毎日約33トンの魚が低酸素レベルと毒性の藻類のために死んでおり、悪化が進行しているこの問題の解決法を専門家チームが探求中である述べた。

長官によると、湖岸1kmにつき約8kgの魚（全湖岸で6.5トンに相当する）が死亡することがありうるという。また湖岸を離れたところに生息する魚の死を含めると、約5倍になり、最終的な推定数値ではマラウイ領のマラウイ湖全体で毎日33トンの魚が死んでいることになる。

新しい商業銀行、マラウイに開店 【11月11日】

10 月26日、新しい商業銀行がブランタイアに店舗を開いた。これはモーリシャスに本店を置く「Loita Bank」で、1994年以降では、マラウイ国内に

拠点を構える3番目の商業銀行となる。

バキリ・ムルジ大統領は開店式典で、Loita銀行は草の根経済活動を活発にするため、個人事業主にも融資することを期待すると述べた。

新燃料会社、他社より値下げ 【2月5日】

昨年11月にリンベに開店した新燃料会社「Petroda」は、他社より安い値段で売るとの約束を実行しており、マラウイ消費者協会の賞賛を得ている。

Petrodaはガソリンを他社より1.5クワチャ/リットル安い29クワチャ/リットルで、ディーゼル油を1クワチャ/リットル安い25クワチャ/リットルで売っている(1US\$ = MK46)。

国の燃料市場を監視する石油委員会は、燃料会社は規制による上限価格を超えない限り、自らのコストに従って自由に価格を設定してよいと述べている。

「Petroda」はタンザニアの投資家の所有で、現在1店舗しか営業していないため、追加店舗のため土地をさがしているという。

コレラで19人死亡 【2月5日】

昨年11月に雨期が始まって以来、623人のコレラ患者のうち19人が死亡した。

保健省が1月25日に発表した伝染病に関する記録によると、1ヶ月で3500人の患者を予想していたが、11~12月で562人、1月は61人しか発生しておらず、昨年より状況はよいとしている。

煙草生産で特別配慮要求 【2月27日】

マラウイ政府と人権団体、それにマラウイ煙草協会は2月10日、WHO世界保健機関に対し、煙草生産と喫煙に関する国際的制限の提案について、マラウイを対象としないよう求めた。

マラウイ側は、煙草を禁止することは国の外貨収入の70%を煙草に頼っているマラウイにとっては自殺行為となり、国の経済に大きな影響を受けるとし、特別配慮を求めた。

マラウイは1000万人国民のうち150万人が煙草産業にかかわり、700万人あまりが何らかの形で間接的に煙草に関わっている。

《投稿》

帰国報告

JOCVマラウイ派遣 平成9年度2次隊 上田繁

Muli bwanji? (お元気ですか?) 私はマラウイの市役所で治安維持のための街灯

整備や、学校・診療所などの電気設備維持管理業務の指導をしていました。現在の日本では考えられないような工具や不安全な方法で作業をしていました。日本ではあまり経験の無いラジカセや電気クッカーなどの修理もしました。

文化・風習・言語の違う環境の中での協力活動で行き詰まったときに、私はスポーツを通じて気分転換ができ、救われました。また、友人もたくさん出来ました。

余暇では剣道と陸上競技、この2つのスポーツに深く関わりました。剣道のほうは指導者が数年間途絶え、大会も行われず活動が停滞していました。学生達が私の職場に剣道の指導を請いに訪れたのですが、私は剣道の経験は全くありませんでした。最初は恥ずかしくて日本の武道を彼らから習うつもりはなく、オブザーバーだけのつもりだったのが、スポーツ好きが災いしてついには彼らから逆に習う羽目になってしまいました。彼らから日本語で「ワカッタカ!」と言われ「はい」と答える私の姿はどこか滑稽でした。私が練習に加入後、見物人(野次馬?)が増え、入部者も増えました。私はクラブ活性化のためには客寄せパンダでもなんでもやろうと思いました。

まず手始めに私が取り掛かったことは、剣道大会の開催でした。試合がなければ練習の目標、技術向上もなく、練習参加率も低いからです。優勝カップも買い、招待状をみんなで作成してマスコミにも配布し、大会開催準備を行いました。当日は白人等の観衆も集め、約3時間の大会も成功裏に終わりました。はかま、面手ぬぐいの付け方も知らない私も、日本人の面目を保って一回戦は胴と面の2本を決めました、2回戦は熱戦の末負けました。

私達はローカルなクラブをマラウイ全国へ普及の可能性を秘めた正式なスポーツ団体として国に登録を行いました。スタッフは当然マラウイアンが中心です。そうでなければ、サポートする隊員や日本人が任期を終えて去ってしまえば、また元の木阿弥だからです。



マラウイアン剣士たちと

陸上競技のほうは日本で趣味としていました。マラウイではロードレース参加がきっかけとなり選手達と親交が出来ました。終業後、学生や社会人の選手達と一緒に練習

をしたり、長距離コーチの真似事をしていました。ナショナル・チームの強化合宿にも参加し、同じ飯を食い、同じ宿舎で数日間過ごしました。こんな食事でよく練習が出来ると感心もしました。カロリーは多いが栄養分が少ないのです。長距離選手を中心として朝の5時から一緒に走り、午前・午後と日に3回の練習をしながらコーチもしました。体操や適切な食事、練習に対する取組み方、レース運びなど等。私よりも速く走れ、潜在能力の高い選手も多いです。

「途上国の自助努力」と言っても、特殊な陸上競技用のスパイクシューズや剣道用具などはマラウイでは販売されておらず、入手出来ません。たとえ販売されていても、国民一人当たりのGNP以上の用具は買えず、着の身着のままでの練習・試合でした。

日本の休職先の職場や陸上競技関係者、友人、先輩隊員などからは剣道用具、陸上競技用品などを寄贈していただき選手共々、感謝感激しました。

また、シドニー・オリンピック選考を兼ねた全アフリカ大会への陸上競技選手派遣募金運動にご協力いただいたJICA職員、専門家、先輩・現役隊員の皆様にも、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。おかげで2名の選手を追加派遣できました。ありがとうございました。残念ながら陸路バスでヨハネスブルグへ向かった選手団のバスが、死傷者を出す正面衝突事故を起こしてしまい、選手全員が負傷して満足のいく結果は出せませんでした。

私が業務や剣道、陸上競技などマラウイでの活動全てにおいて心がけたことは、私達がいなくなっても、彼らマラウイアンだけで上手く活動していけるようにすることでした。私達で資金・機材を出して運営すればトラブルも少なく、彼らより上手くいくでしょう。しかし、それでは彼らに進歩は少なく、依存心が増すばかりです。技術や運営方法を指導する前に、「なぜそうしなければならぬか」の精神面を説きました。私達がいくらお金を注ぎ込み、苛立ち、叱っても、受け止める彼らに真剣さが無ければ変革は無いからです。悲しいかな、私達は所詮外国人。彼らの国を変えられるのは、彼ら自身です。一見で外国人が訪れ「子供たちは清んだ瞳を持ち、かわいい」だけでは済まされない現実がここにはあります。

マラウイは国際的舞台に立つスポーツ選手、資源、経済力、政治力に乏しく、国内経済と治安は悪化の一途で行く先が見えませんが、彼らの努力でいつまでも"The Warm Hart of Africa! Malawi"が通用する国であることを願っています。

第二の故郷マラウイ、Zikomo kwanbiri! (大変ありがとうございます。)

《日本マラウイ協会》 平成 11 年 7 月 ~ 平成 12 年 2 月活動概況

(1) 99 国際協力フェスティバルへの参加 【10 月】

2、3 日の両日、日比谷公園にて行われた国際協力フェスティバルに当会は今年も参加し、パネル展示、民芸品および書籍等の販売した。また、昨年度好評であったマングジ (揚げパン) とチョンベティーのセットを今年も販売し、2 日間とも盛況に終わった。

なお、両日の収入 (民芸品と揚げパン、紅茶セットの売上金) と支出 (民芸品と食材料の購入費) は当会の今年度末決算書に載せることになった。

(2) チェワ語辞典改訂版作成の件について 【7 月 ~ 12 年 2 月】

河野理事を中心として有志で編集等を行い、原稿の内容校校正はルイ氏 (元 JOCV 広尾訓練所英語教師) に依頼中。

印刷物のイメージを出した上で、数原会

長及び駐日マラウイ大使からの『発刊の辞』の原稿を 4 月上旬に頂けるよう依頼する。

正式タイトル名は『チェワ語辞典: Chewa Language Dictionary』に決定。総ページ数は 180 ページ程度、サイズは B5 判、部数は 500 部 (予定) 発行日は 5 月 13 日、価格は 1,500 円 (予価) 程度に設定する事となった。

(3) 『マラウイ・ウォームハート・プロジェクト』について 【9 月】

当会で何年にも渡り討議されてきた草の根資金援助協力・100 万円プロジェクトに関し、現在マラウイにて活動中の隊員から、電子メールを通じてアイデアを募るのはどうか、との意見が出た。

【10 月 ~ 12 年 2 月】

11 月の例会協議の結果、プロジェクト名を『マラウイ・ウォームハート・プロジェクト』とすることになった。手順としては、JOCV 事務局に実施についての了解を得

た上で、現地で活動中の隊員から活用用途の申請を電子メールにて募り、寄せられた案を当会にて審査し、適切な案件を選出することを想定。支援額は、採用案 1 件につき 30 万円を限度額とすることとした。近々に電子メールにてマラウイで活動中の隊員に案件募集要項を配信の運びとなった (現在調整中)。

(4) 当会の電子メールアドレスの取得について 【12 年 1 ~ 2 月】

当会の電子メールアドレスは、これまで暫定的に上田理事個人のメールアドレスを流用していたが、マラウイ協会独自の電子メールアドレスを新規に取得することとした (japan-malawi@mc.newweb.ne.jp)。

その他、現在、当会のホームページは協力協会のホームページに間借りしているため、来年度の計画に『協力協会から独立したホームページの開設』を入れる事とした。

🌞 日本マラウイ協会情報 🌞

チェワ語辞典 (改訂版) 発刊の案内

マラウイ中南部からザンビア東部にかけての地域で、チェワ族を中心に使われ始めた言語・チェワ語 (Chichewa)。現在ではこのチェワ語は、マラウイの多くの地域で共通国語として公用語の英語と共に使われていて、現地の人々と草の根レベルで交流し、活動を展開する青年海外協力隊 (JOCV) にとっては、チェワ語を使うことが円滑なコミュニケーションを図るための重要な手段となっています。

そういった背景から現地で活動する JOCV がチェワ語を学習する際の手引きとしようとして、'87 年に「チェワ語辞典」、「Chichewa Textbook」(文法・日常会話編、医療編) という 2 種類の冊子がまとめられ発行されました。これらは、その当時の JOCV マラウイ派遣隊員および OB/OG が中心となり、編集、発行され、その後の JOCV 派遣隊員などが活用してきたものです。しかし、いずれも、在庫がなくなり、再版の問い合わせが相次いだことから、既刊 2 種を統合した内容の改訂版をここに発行することになった次第です。

日本マラウイ協会では、編集委員会を設立し、約 2 年に渡って編集作業を行ってまいりました。まだ不充分なところはありますが、文法概説、辞典部 (チェワ語 日本語、日本語 チェワ語)、文例集 (日常会話、医療会話) と多岐に及ぶ本書の内容は、チェワ語学習の一助となり、マラウイでの生活・旅行において広く活用していただけるものと自負しております。

最後に、「チェワ語辞典」の発行にあたり、原稿、資料等を提供していただいたり、校正等に時間を費やして下さった関係各位に心からお礼申し上げます。

チェワ語辞典 B5 判、180 ページ程度、2000 年 5 月中旬より頒布開始頒布予定価格 ¥1,500 (日本国内送料 ¥340)

購入のお申し込み・問い合わせは、右記の日本マラウイ協会宛にお願いいたします。

第 18 回通常総会のご案内

日本マラウイ協会は第 18 回通常総会を下記の通り開催します。会員の皆様は本紙に同封の葉書にて出欠をご連絡下さい。

1. 日時 平成 12 年 5 月 13 日 (土) 15:00 ~ 17:00
2. 場所 青年海外協力隊広尾訓練研修センター大会議室

日本マラウイ協会の刊行物

- (1) 国情紹介誌「Malawi - The Warm Heart of Africa」第 2 版 A4 版 40 ページ 1 部 1,000 円 (送料 310 円)
- (2) マラウイ旅行ガイド 新訂第 2 版 (97 年 7 月発行) アフリカの暖かき心、

湖とサバンナの大地へ」B5 版 108 ページ 1 部 1,200 円 (送料 310 円)

各書ご希望の方は、本ページ最後の入会方法の欄に記載の郵便振替口座宛に、代金および送料をお送りください。その際、振込用紙通信欄に「xxxx xx 冊希望」と明記のこと。

ご意見、ご質問をどうぞ

日本マラウイ協会に対するご意見、ご要望、ご質問などありましたら、下記当協会宛へご連絡なくお寄せください。また、電子メールによるマラウイ関連情報の配信も行っておりますので、電子メールアドレスをお持ちで、ご希望の方は、あわせてご連絡ください。

日本マラウイ協会 月次定例会

日本マラウイ協会では、毎月第 3 水曜日 18:30 ~ に、東京都内 (通常は JOCV 広尾訓練研修センター 1F 研修室 2) で、月次定例会を開催し、マラウイ関連の支援活動などについての討議や、マラウイ関係者間の情報交換などを行っております。参加は会員でなくても構いません。初めての方も大歓迎です。詳しくは、下記の当協会までお問い合わせください。

日本マラウイ協会 入会方法

ご連絡いただければ入会申込書をお送りしますので、各項記入の上ご返送ください。また、入会金と年会費の合計 (個人正会員の場合 1,000 円 + 3,000 円 = 4,000 円) を下記の銀行口座または郵便振替口座へお送りください。(郵便振替口座が安く便利です)

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24

青年海外協力協会気付 日本マラウイ協会

TEL: 03-3568-0908 FAX: 03-3568-3585

E-mail: japan-malawi@mc.newweb.ne.jp

電話/FAX 番号、電子メールアドレスが変更となっております。ご注意ください。

三和銀行 東恵比寿支店 普通口座 255739

口座名義人 日本マラウイ協会 名誉会長 卜部敏男

郵便振替 00190-7-13125 加入者名 日本マラウイ協会

また、協会規約その他についても上記宛お問い合わせください。